

# 躍進するサウジアラビア

— サウジアラビアのビジネス環境 —



日本・サウジアラビア産業協力タスクフォース

(財)中東協力センター

Ver. 5.0

2011年2月

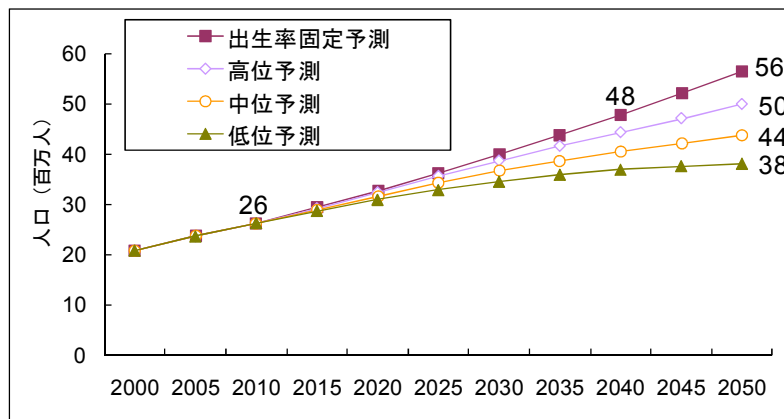
# 1. サウジアラビア経済のポテンシャル

人口 2,500 万人を擁するサウジアラビアの経済規模(GDP)は、湾岸協力会議(GCC)諸国においては群を抜いて大きい規模です。またその購買力を示す国民1人当り GDP は 1.5 万ドルと高い(日本の半分、タイ・ブラジルの倍)状況です。

GCC(湾岸協力会議)諸国は言語が共通・非関税の単一市場です。サウジアラビアは GCC 内の最大の市場であり、サウジアラビアを出発点としてGCC諸国への展開が可能です。更に、サウジアラビアの背後には中東・北アフリカ(MENA)地域という、人口3億人のマーケットが控えております。同地域においても域内非関税が進められており、サウジアラビアはこの MENA 市場へのゲートウェイとなりうるポテンシャルがあります。

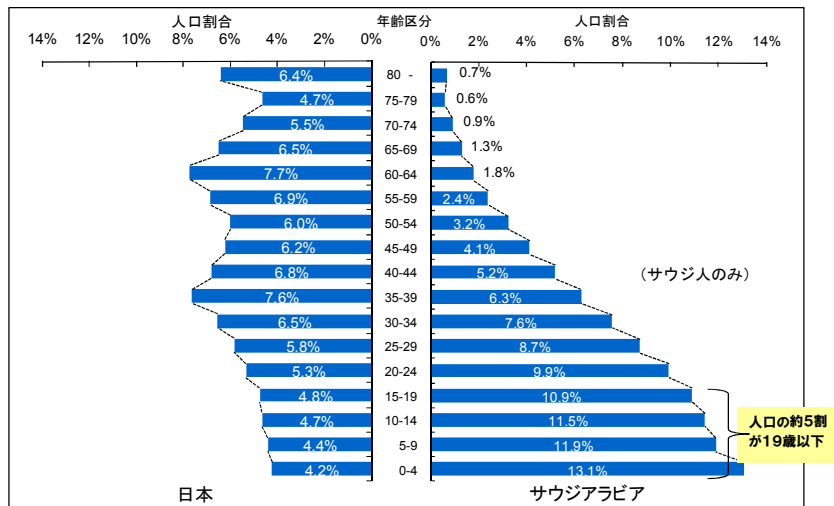
高い出生率を背景に人口が増加、仮にこのペースが維持されれば 30 年で倍になる見込みです(下図・出生率固定予測)。消費・労働の源泉となる若者が多いことが特徴です。

**サウジアラビアの人口成長**



出所) United Nations Population Division, "World Population Prospects, The 2008 Revision Population Database"

**日本とサウジアラビアの人口ピラミッド比較(2009年)**



出所) 日本: 総務省統計局「人口推計」平成 22 年、サウジ: Saudi Arabian Monetary Agency, "46<sup>th</sup> Annual Report"

## サウジアラビア基礎情報

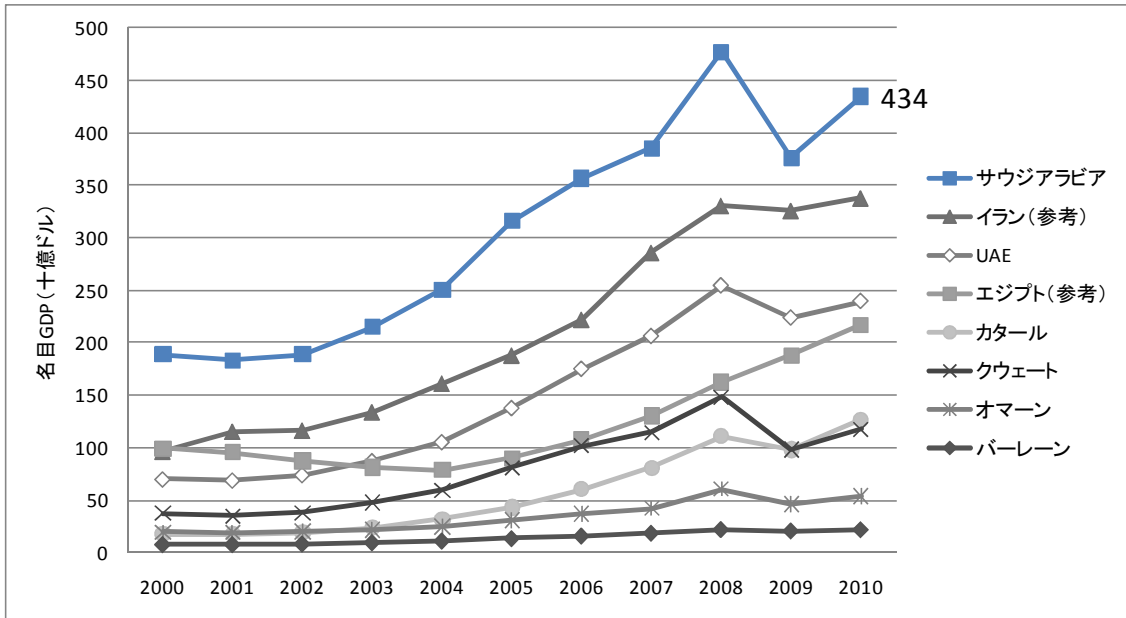


人口	2,537 万人（人口成長率は 2.3%）（2009）
言語	アラビア語
宗教	イスラム教
政治体制	君主制（国王）
通貨	サウジアラビア・リヤル（SR）（1 米ドル=3.75 リヤル）
GDP	1 兆 4,091 億 2,400 万 SR [3,757 億 6,640 万ドル]（2009）
輸出総額	1 兆 1,754 億 8,200 万 SR [3,134 億 6,187 万ドル]（2008）
休日	勤務時間はイスラム暦に準拠し、金曜日が休日
気候	沿岸部は高温多湿の亜熱帯性気候、内陸部は高温乾燥気候で昼と夜の寒暖の差が激しい地域。基本的に暖かい気候だが、高山地帯は夏季でも涼しく、避暑地となる。

データ出所) 経済企画省

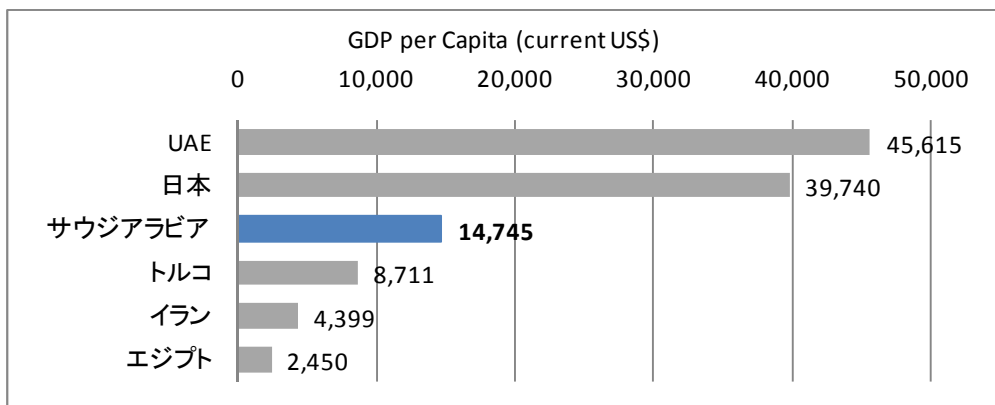
経済規模は中東地域内随一。国民1人当りGNI水準は約 1.5 万ドルと、一定の購買力が期待できます。

### 中東主要国の名目 GDP 比較



注) イラン、UAE、クウェートは 2009 年より IMF 予測、他は 2010 年のみ IMF 予測  
出所) IMF, "World Economic Outlook Database, October 2010"

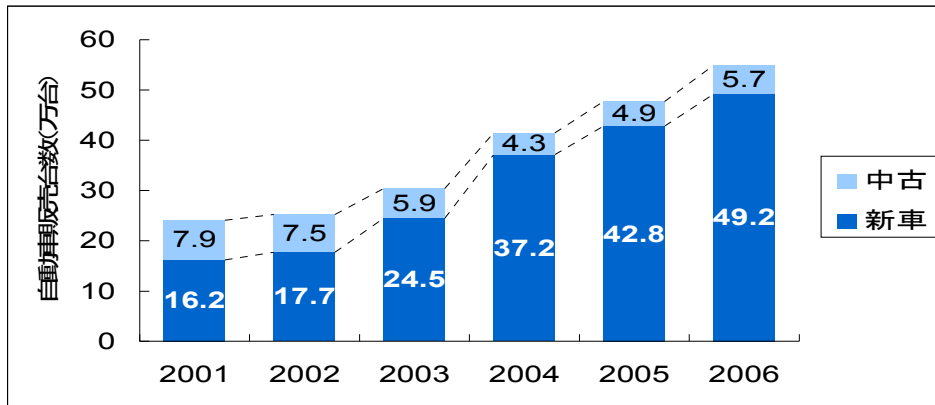
### 国民1人当り GDP(2009)



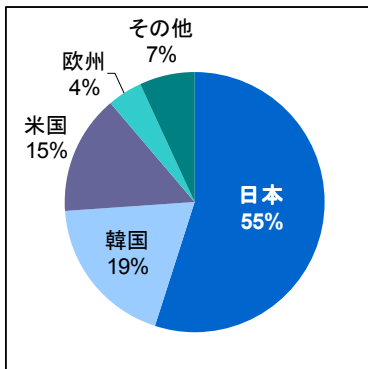
注) UAE、日本、イラン、エジプトは IMF 予測  
出所) IMF, "World Economic Outlook Database, October 2010"

購買力の目安になる自動車市場は急成長しております。日本車のシェアが圧倒的に高い状況です。高級車が売れていることも購買力の高さを裏付けるものと考えられます。

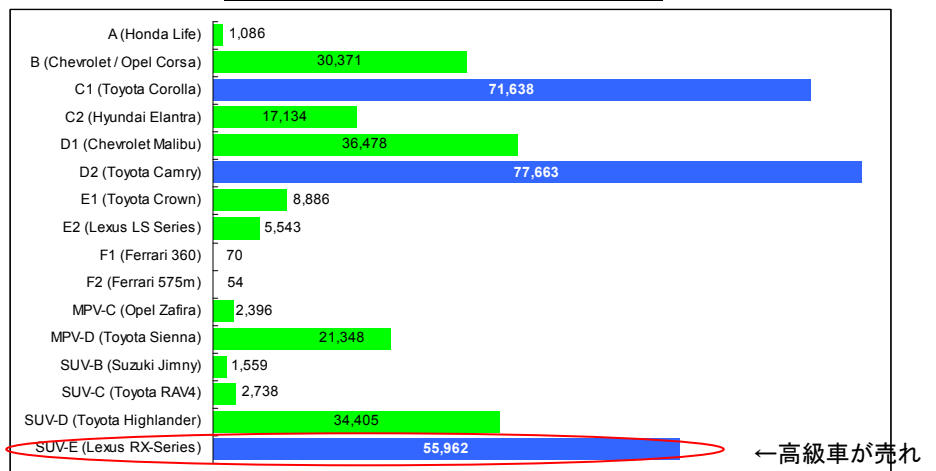
### サウジアラビアの自動車市場



### 国別輸入車(新車)のシェア (2008年)



### セグメント別販売台数(2006年)

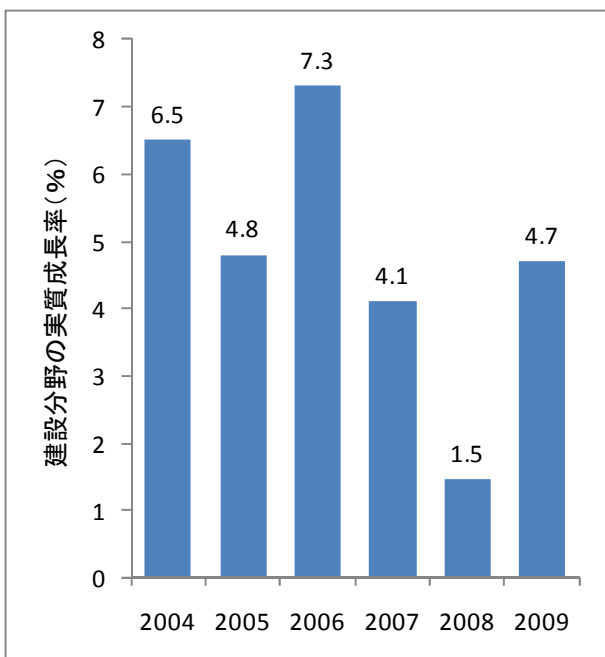


出所) MEED (元データ出所: Automechanika Middle East)

出所) NICDP

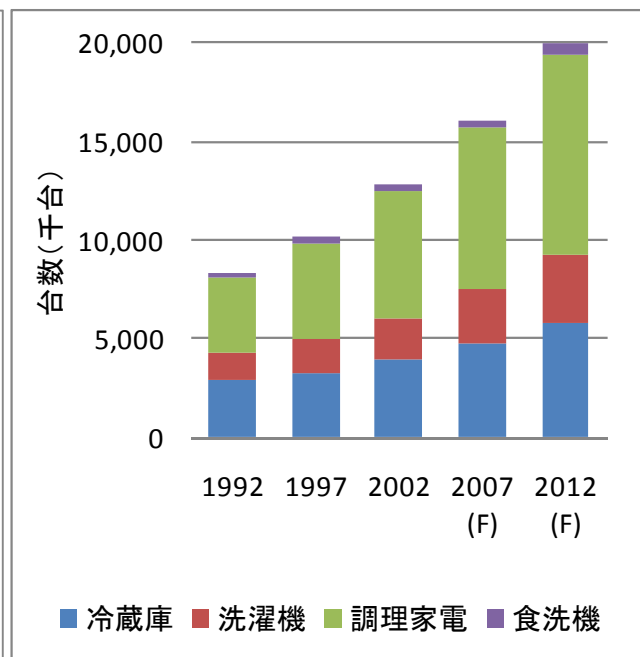
昨今の建築ラッシュを反映し、建設分野の実質成長率も高水準で推移しています。同様に好景気を反映して、家電分野も高い割合で成長しています。

### サウジアラビアの建設分野の実質成長率



出所) サウジ通貨庁 (SAMA)

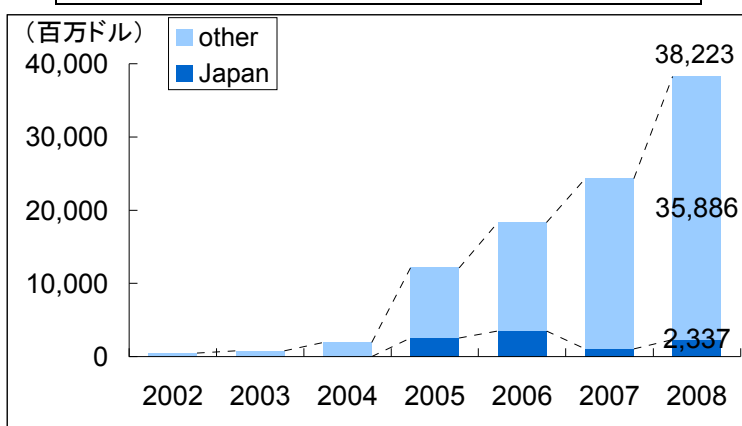
### 中東・アフリカ地域の家電部門の成長率



出所) NICDP

2005年以降、海外からのサウジアラビア向け投資が大幅に伸びています。  
2008年の投資流入額は世界で14番目の規模となりました。

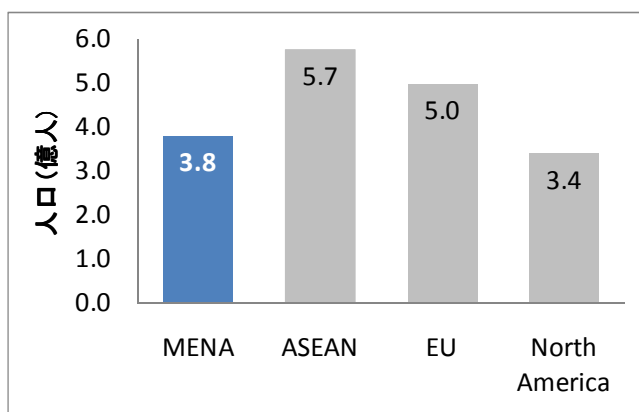
海外からサウジアラビアへの投資流入額推移(70-)



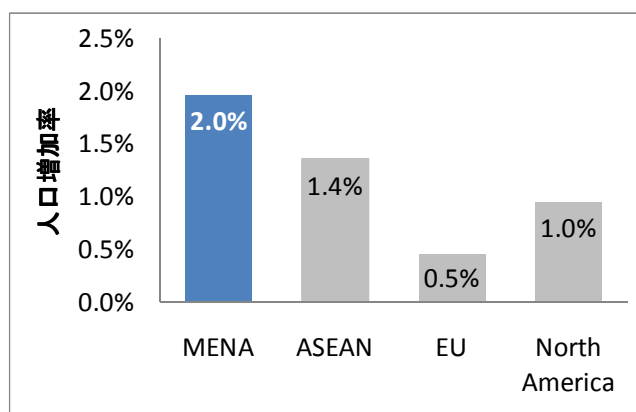
出所)UNCTAD, "World Investment Report 2009", SAGIA

サウジアラビアの背後には、18カ国、人口3.8億人を擁するMENA(中東・北アフリカ)地域が控えております。MENAの人口規模はASEANの2/3、北米を超える規模です。名目GDP及びその成長率はASEANを上回っています。(2003-2008年平均)。

各地域の人口(2008年)



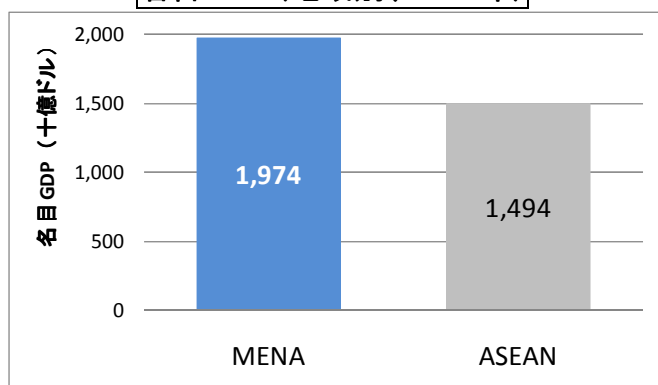
人口増加率(地域別、2003-2008年平均)



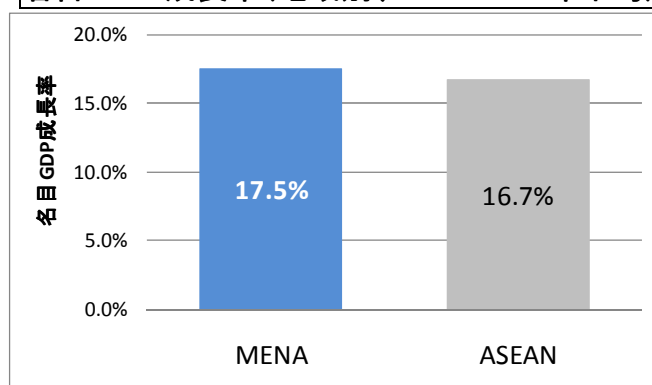
出所)世界銀行, "World Development Indicators 2009"

また、MENA(中東・北アフリカ)地域の名目GDP(2009年)及びその成長率(2004-2009年平均)はいずれもASEANを上回っており、極めて魅力的な市場です。

名目GDP(地域別、2009年)



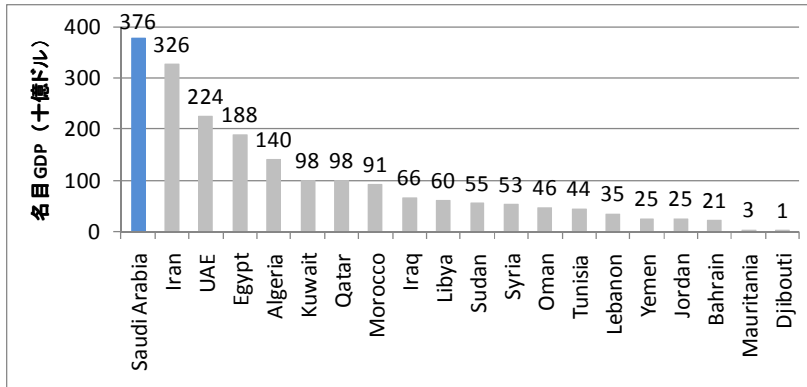
名目GDP成長率(地域別、2004-2009年平均)



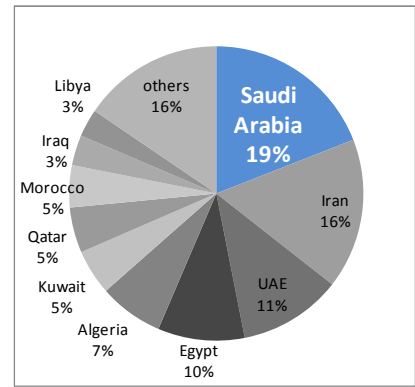
出所)IMF, "World Economic Outlook Database, October 2010"

サウジアラビアの経済規模は MENA 地域内最大です。まずサウジアラビアへ進出し、その後 MENA に拡大するというシナリオを描きやすいと分析できます。

名目 GDP(MENA 諸国※)(2009)



MENA諸国※の名目GDPシェア



\* MENA の定義は IMF に拠る。イラン、UAE、アルジェリア、クウェート、イラク、シリア、チュニジア、レバノン、イエメン、モーリタニア、ジブチの数値は IMF 推計。出所)IMF, "World Economic Outlook Database, October 2010"

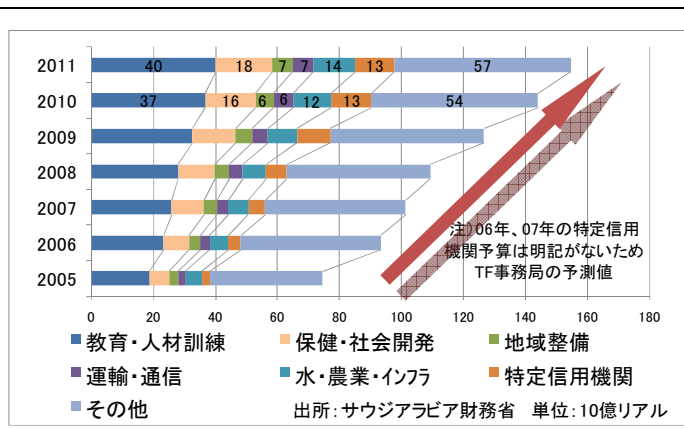
金融危機のサウジアラビア実体経済への影響は比較的軽微、政府も赤字予算を組んでも、最大の歳出規模を堅持。開発プロジェクトの着実な実施による景気下支えを目指すサウジ政府の強い姿勢が伺えます。

歳入・歳出の推移(予算ベース)

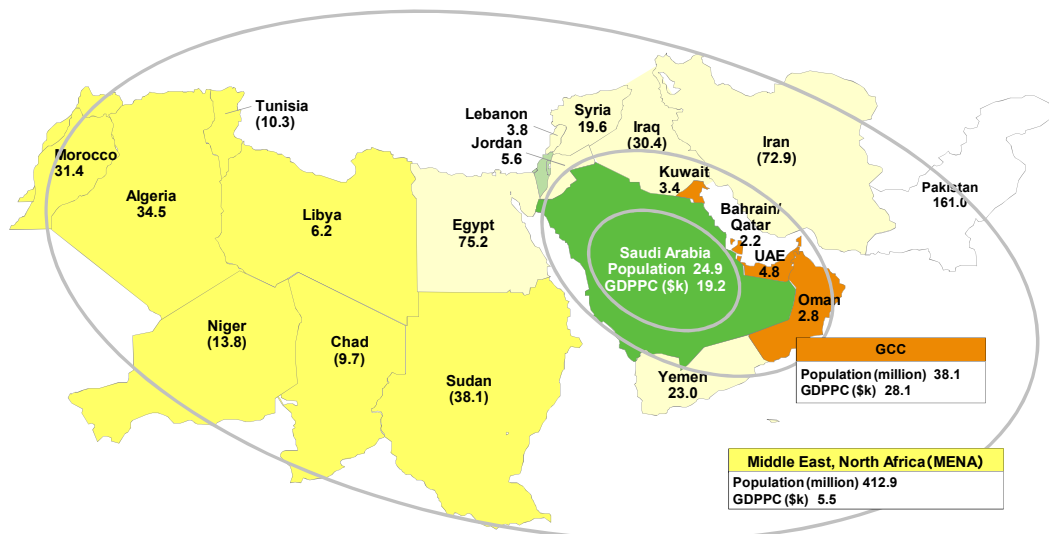
年度	歳入	歳出	財政黒字
2011	144	155	-11
2010	125	144	-19
2009	109	127	-17
2008	120	109	11
2007	107	101	5
2006	104	93	11
2005	75	75	0

出所)サウジアラビア財務省、単位)十億ドル  
注)実績値とは異なる(例えば10年度は289億ドルの財政黒字)

予算割り当ての推移



サウジアラビアは、中東・北アフリカの成長市場の中心に位置しており、サウジアラビアの近隣には、約4億人の市場が存在しています。



出所)NICDP、IMF World Economic Outlook Database  
※2008年時点 括弧付きの数値はIMF予測

## 2. サウジアラビアのビジネス環境

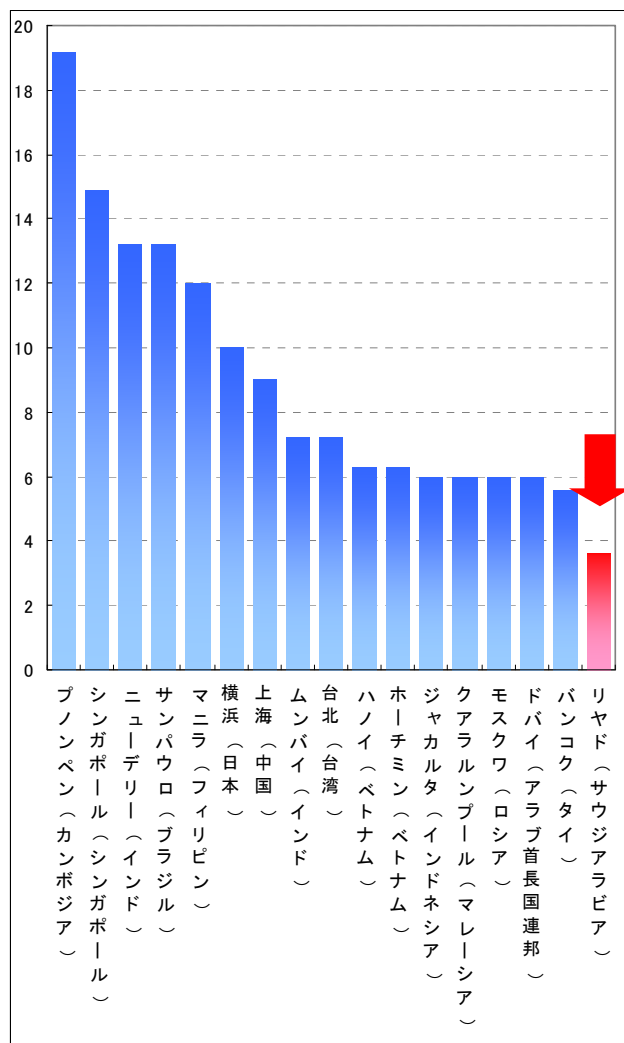


サウジアラビアは石油、ガス、電力などエネルギー資源が安価。土地も安く、企業の生産活動のためのインフラが整いやすい環境です。

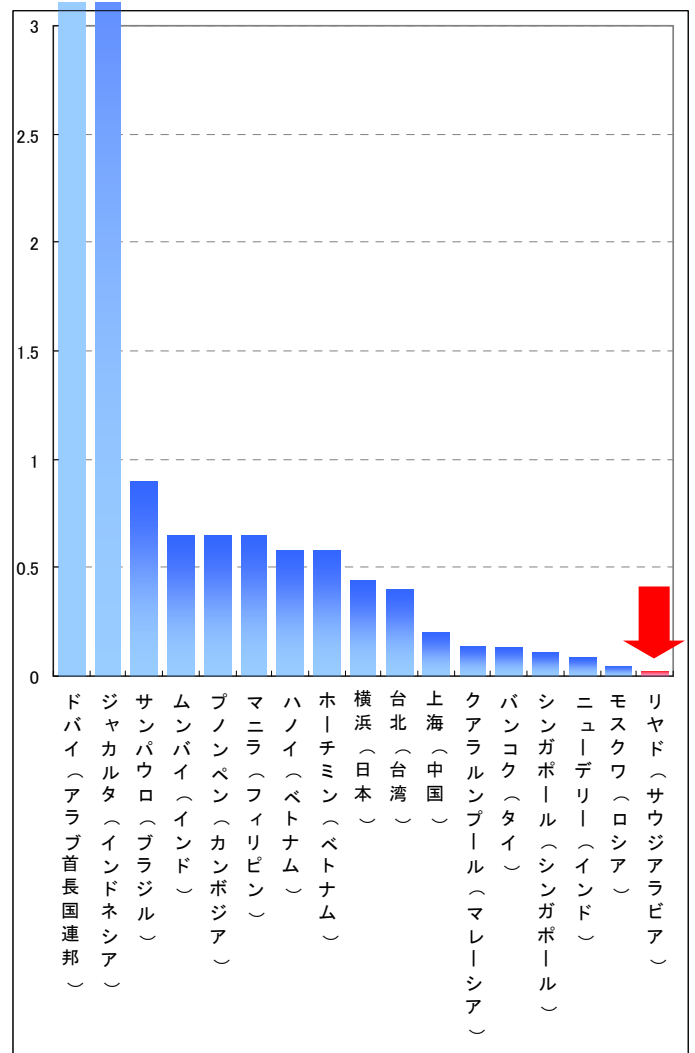
ジュベイルやヤンブー等における大規模工業団地には多数の企業が立地しており、整備された港湾、パイプラインによるガス供給、十分な電力供給など充実したインフラサービスを受けることが可能です。

エネルギー料金は、他都市に比べて格安です。エネルギー多消費型の製造業には有利な地域と言えます。

各都市の業務用電気料金(従量部分、円/kWh)



各都市の業務用ガス料金(従量部分、ドル/m³)



サウジアラビアには多くの工業団地が立地しており、産業インフラが充実しております。また、大規模経済都市の開発計画が複数あり、今後の発展がますます期待されます。

### [主要工業団地／経済都市開発計画]



#### ジュベイル工業団地

- 製造分野: 鉄鋼圧延、石油精製、石油化学製品製造 等
- 投資額: 約660億米ドル
- 代表的な産業インフラ:
  - ・ 6,000メガワットの電力供給
  - ・ 8,000ヘクタール(全長約80km)にわたる広大な工業スペース
  - ・ 多目的な用途に対応できる広大な港湾・空港の整備
  - ・ ジュベイルからヤンブーへ石油・ガスを運ぶ巨大なパイプライン(1,170km)の敷設



#### ヤンブー工業団地

- 製造分野: 石油精製、石油化学製品製造 等
- 投資額: 約330億米ドル
- 代表的な産業インフラ:
  - ・ 900メガワットの電力供給
  - ・ 95,000立方メートルの水の供給
  - ・ 多目的な用途に対応できる広大な港湾・空港の整備
  - ・ ジュベイルからヤンブーへ石油・ガスを運ぶ巨大なパイプライン

#### ラスアズール鉱工業都市(建設中)

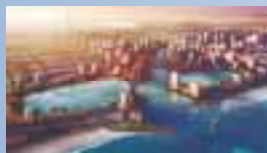
- 製造分野: 鉱工業(リン鉱石、ボーキサイトの加工・精錬) 等

#### サウジアラビア工業用地公団(MODON)の17の工業団地

- 場所: リヤド(2)、ジェッダ、ダンマン(2)、マッカ、カシーム、アルハサ、マディーナ、アシール、アル・ジューフ、タブーク、ナジラン、ハーイル、アラール、アルハルジュ、ジーザーン
- 製造分野: 建築資材、化学品、石油化学製品、食品、金属加工、機械、家具、製紙、繊維 等
- 総投資額: 約830億米ドル
- 工場総数: 約4,051
- 総工業スペース: 7,500ヘクタール  
(今後3年でさらに3,450ヘクタールを建設予定)
- 代表的な産業インフラ:
  - ・ 多数かつ広大な工業スペース
  - ・ 安価かつ充実した電力供給 0.032米ドル/kWh (工業用)



#### 経済都市開発計画※現在計画中的のものであり、現在存在しているものではありません。



#### キング・アブドゥラー・エコノミック・シティ(ラービグ)

- 港湾、物流、軽工業、サービス業
- 投資額: 270億米ドル
- 新規雇用数: 100万職
- 居住人口: 200万人



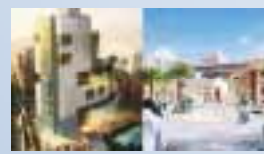
#### ジーザーン・エコノミック・シティ

- エネルギー、労働集約型産業
- 投資額: 270億米ドル
- 新規雇用数: 50万職
- 居住人口: 25万人



#### プリンス・アブドゥルアジーズ・ビン・ムサド・エコノミック・シティ(ハーイル)

- 物流、鉱業、農業関連産業
- 投資額: 80億米ドル
- 新規雇用数: 5.5万職
- 居住人口: 8万人



#### マディーナ知識経済都市

- イスラム関連の知識産業等
- 投資額: 70億米ドル
- 新規雇用数: 2万職
- 居住人口: 20万人

2010年に発表された、世界銀行の“Doing Business 2011”によれば、サウジアラビアは183カ国中総合順位第11位と、中東の中では最高順位、18位の日本をも上回っています。特に順位を押し上げているのは、資産登録と税率です。行政事務手続きの速さと法人税率の低さが特に評価されています。

**ビジネス環境 総合順位**

順位	国名
1	シンガポール
2	香港
3	ニュージーランド
4	米国
5	英国
<b>11</b>	<b>サウジアラビア</b>
16	韓国
<b>18</b>	<b>日本</b>
22	ドイツ
26	フランス
28	パーレーン
40	UAE
50	カタール
57	オマーン
65	トルコ
74	クウェート
94	エジプト

**項目別順位(50位以上)**

項目	説明	順位
Registering Property	資産登録に係る費用と時間	1
Paying Taxes	各種税率	6
Starting a Business	開業に係る時間、費用等	13
Dealing with Construction Permits	建築にかかる手続き、費用、所要時間	14
Protecting Investors	投資家保護制度	16
Trading Across Borders	輸出入に係る通関手続きの時間、費用、所要時間	18
Getting Credit	資金調達関連法制度	46

出所) 世界銀行 “Doing Business 2011”

サウジアラビアは教育・医療・治安などの生活インフラ／環境が驚くほど充実しています。宗教上の一定のルールを守ることは必要ですが、一般的にイメージされるほど住みにくい土地ではありません。

**【サウジアラビアの生活環境】**

**(教育・医療)**

- 公立学校はすべて授業料が無料で、大学、専門学校には奨学金、医療費、住宅手当、生活費、交通費の給付制度があるところもあります。学校数、就業者数共に増加しており、国立大学も11の総合大学があり質量ともに充実しています
- リヤド、ジェッダに日本人学校(小・中学部)があり、両校合計24名(平成20年2月現在)の子弟が学んでいます。
- 05年～06年統計で、サウジには、379の病院が存在し、医療技術の水準は高く、サウジで働く大部分の医師は欧米で資格を取得しております。

**(食事・買い物)**

- リヤド、ジェッダなど大都市では各国のレストランがあり多様な食事を楽しむことができます。ただし、アルコール類は禁止されています。
- 欧米式のショッピングモール、大規模スーパーマーケット、伝統的市場など様々に買い物をする場所があり、有名ブランド品や生活必需品を購入することができます。

**(観光・暮らし)**

- サウジアラビアには、シェラトン、マリオットなど5つ星の国際的ホテルがあり、スポーツ施設、ショッピングモール、会議室なども充実しています。長期滞在者用にキッチン付きアパートメントもあり、長期出張も便利です。
- 在留外国人は警備体制の整ったヴィラやアパートメントに居住することが多く、プールやフィットネス施設、クリニック併設の環境で生活しています。

**(治安)**

- サウジアラビアでは、窃盗等の犯罪行為は宗教教義に反する行為としてイスラム法(シャリーア)によって厳しい刑罰が科されます。この厳罰主義等が抑止効果となって、一般的な治安に関しては、欧米諸国と比べて比較的良いと言われています。
- 人口10万人当たりの犯罪発生率を日本と比較した場合、総件数、殺人、窃盗のいずれも日本より低くなっています。
- また、サウジ治安当局のテロ取締り強化等により、2005年以降は大規模なテロは発生していません。

### 3. サウジアラビアに進出する日系/外資企業

我が国のサウジ進出企業の中から、住友化学株式会社様及びユニ・チャーム株式会社様、さらには元サウジアラビア総合投資院(SAGIA)ジャパンデスクの田中氏に現地のビジネスの魅力についてご紹介いただきました。また、現地へ進出する外国企業も増えているところであり、最近報道のあった外国企業の進出動向についても、紹介いたします。

#### 住友化学株式会社様からのメッセージ

住友化学は、サウジ・アラムコと合併でペトロ・ラービグ社を設立、石油精製と石油化学の統合コンプレックス事業計画「ラービグ計画」を推進し、2009年4月に石化製品の生産を開始いたしました。これは、安定的な原料供給を受けて収益力のある統合コンプレックスを展開する計画です。

サウジアラビアは、大きな需要地であるアジアと欧州の中間に位置するという地の利を持つとともに消費地としての魅力も大きいものです。サウジ政府は豊富な石油・天然ガス資源を活用した産業育成を進めているため、当社のラービグ計画はこのような政府の施策と当社の方針が一致した結果実現したプロジェクトと言えます。また、ペトロ・ラービグ社は2008年初にIPO(新規株式公開)を行い新たに540万人のサウジ国民を株主に迎え、よりサウジに根ざした企業として歩み始めております。更に、住友化学は、サウジ・アラムコと共にペトロ・ラービグ社の隣接地に、主として幅広いプラスチック産業の誘致を目指した工業団地Rabigh PlusTech Park(RPTP)を建設し、2010年4月に運営を開始いたしました。

#### ユニ・チャーム株式会社様からのメッセージ

中東、北アフリカ地域では、年間おおよそ7百万の赤ちゃんが誕生していると言われます。中でも、政治・経済の中心的役割を果たし、且つ人口がGCCで最も多いサウジアラビアでのビジネス拡大は、中東での成長ドライバーと言えます。ライセンス時代を含めて、生産を開始して15年。現在、紙オムツ、生理用品での直接投資により、わが社のシェアは急速に拡大しつつあります。2010年までには、それらの市場規模も中東全体で2千億円程度に成長すると見込まれ、その成長に合わせた経営基盤の整備が必須です。ますます、加速する中東市場。そこで待つお客様に対しより高い快適生活をお届けするのが、わが社の仕事です。

#### 諸外国からの直接投資が拡大するサウジアラビア

近年サウジアラビアは非常に好調な経済成長が続いている。原油収入の拡大、高い資金力と拡大するマネーサプライ、アラブ世界最大の消費市場と高い購買力、経済成長の原動力となっている民間セクターの著しい成長などがその背景だ。近年は北アフリカ・中東(MENA)への輸出拡大が顕著だ。市場の成長性では世界のトップレベルであり、近年ビジネス環境も大きく改善している。諸外国からの中小規模の直接投資も拡大している。豊富な資金力、様々なビジネス・投資機会が増えているこの魅力あるサウジアラビアにぜひ今こそ注目して頂きたい。

元サウジアラビア総合投資院ジャパンデスク(リヤド)投資アドバイザー 田中 保春

#### 最近の日系企業のサウジ進出事例 ※括弧内はサウジアラビアのパートナー企業

- **株式会社インデックス**
  - ・ モバイルコンテンツ&サービス配信事業 (Basil Holding)
- **株式会社クボタ**
  - ・ 鋳鋼製品の製造・販売 (Tharawat Development Company)
- **株式会社ジェイ・パワーシステムズ/丸紅メタル株式会社**
  - ・ 電力海底ケーブルの製造・販売
- **東洋紡績株式会社/伊藤忠商事株式会社**
  - ・ 海水淡水化用逆浸透膜エレメントの製造・販売 (ACWA Power Development)
- **いすゞ自動車株式会社**
  - ・ トラックの組立生産・販売

## 在サウジアラビア日本企業（現地法人）一覧

	現地法人名	事業概要	設立	操業開始	資本金 百万SR	出資会社と出資比率	従業員 数	備考
1	Chiyo Petrostar Ltd.	プラント設計、建築	1975年6月	1975年6月	7	Petrostar Ltd. 51% 千代田化工建設 49%		
2	National Pipe Co., Ltd.(NPC)	大径溶接鋼管製造、販売	1978年8月	1980年12月	200	Teymour Alireza他サウジ資本 51% 住友金属工業 33% 住友商事16%	300	スパイラル製管機(年産18万トン) ストレートシームレス製管機(年産18万トン)
3	JGC Arabia Ltd.	プラントのコンサルティング、設計、建設	1979年2月	1979年2月	4	Eben Saleh Establishment 60% 日揮 40%	101	
4	Saudi Methanol Co.(AR-RAZI)	化学用メタノール製造、販売	1980年2月	1983年7月	259	SABIC 50% 日本サウジメタノール(JSMC) 50%	455	メタノール 310万トン 拡張(2007年)後 480万トン
5	Mitsubishi Electric Saudi Ltd.	重電、電子機器、昇降機販売、据付、工事	1980年2月	1980年2月	8	三菱電機 55% Omar K. Al-Esawy 45%	770	2006年出資比率変更、及び資本金増強(3M→5MSR)、2010年増資(5M→8MSR)
6	NEC Saudi Arabia	通信機器販売	1980年11月	1980年11月	4	NEC 60% Xenel Industries Ltd. 40%	45	
7	Fujitec Saudi Arabia Co., Ltd.	エレベーター、エスカレーター販売、据付、保守	1981年3月	1981年3月	1	フジテック 50% Abdul Ghaffar Jamjoom 50%	29	
8	Eastern Petrochemical Co. (SHARQ)	ポリエチレン、エチレングリコール製造	1981年5月	1985年10月	1,890	SABIC 50% サウディ石油化学 (SPDC)50%	919 (Nov 06)	エチレン115万トン、EG67.5万トン、PE75万トン 拡張(2008年1Q)後エチレン245万トン、EG137.5万トン、PE155万トン
9	Saudi Toyo Engineering Company (SATEC)	各種産業設備の企画・設計・機器調達・建設・運転指導	1981年9月	1981年9月	5	ALGOSAIBI (Khalifa A. Algosabi Holding Co.- KAC) 55% 東洋エンジニアリング 35% 三井物産 10%	6	
10	Marubeni Saudi Arabia Co., Ltd.	商社	1982年11月	1982年11月	7	丸紅 50% Abdul Ghaffar Jamjoom 50%	13	
11	Saudi Factory for Electrical Appliances Co., Ltd. (SELECT)	小型エアコン製造、販売	1986年4月	1988年6月	20	ABBAR 75% 三菱重工業 20% 谷産業5%	123	年産128,000台
12	Unicharm Gulf Hygienic Industries Limited	子供用紙おむつ製造	1992年6月	1992年	94	ユニチャーム 51% Al-Murjan Trading & Industries 44% Mahdy Katbeh社長 5%	280	2005年12月、技術提携先のユニチャームがGulf Hygienic社の株式取得し子会社化
13	Advanced Communication & Electronics Systems Co., Ltd.	通信エンジニアリング	1995年4月	1995年4月	2	住友商事 22% その他サウジ資本 78%	350	
14	Saudi Arabian-Japanese Pharmaceutical Co., Ltd. (SAJA)	医薬品の製造・販売	1996年7月	2000年11月	107	Tamer 社他 79.18% 三共 10.41% 山之内製薬 10.41%	44	総事業費148.9百万SR
15	Ajil Financial Service company	総合リース	1997年11月	2008年7月	140	Riyadh Bank 35% Zahid 25% 三菱商事20% 三菱UFJリース 5% その他サウジ資本 15%	100	
16	Drive Communication	広告、PR	1997年11月	1997年11月	2	Abdul Latif Jameel 16.9% Abdul Latif Jameel Outdoor Advertising 80% 電通 3.1%	130	出資は2005年6月
17	Sun Ace Gulf Ltd	ポリ塩化ビニル安定剤製造	2000年9月	2001年4月	3.7	Sun Ace Kakoh (Pte) Ltd. 49% HAMDAN AL HAMDAN 51%	34	総事業費15百万SR 年産7,000トン
18	United Ink Production Co.,Ltd.	高級インク製造	2000年9月	2002年2月	4.5	Al-Nimir Chemical 80% T&K TOKA 10% AID-J 10%	20	総事業費19百万SR
19	DENSO ABDUL LATIF JAMEEL CO., LTD.	カーエアコン製造、販売	2001年3月	2001年11月	7.5	Denso Int'l. Asia Pte.Ltd. (Singapore) 50% Abdul Latif Jameel Co. 50%	20	総事業費2.5億円 年産2万台

	現地法人名	事業概要	設立	操業開始	資本金 百万SR	出資会社と出資比率	従業員 数	備考
20	Saudi ORIX Leasing Co.	リースファイナンス 自動車リース	2001年4月	2001年4月	250	オリックス 20% ORIX Leasing Pakistan Ltd 10%	127	
21	International Methanol Co. (IMC)	メタノール、ブタジオール製造・販売	2002年3月	2004年 第3四半期	330	SIPC 65%、 JAMC(日本アラムコ) 35%	未定	総事業費350百万ドル メタノール年産970,000トン
22	Arabian Company and Sasakura for Water & Power	海水淡水化プラント改修工事請 負、新規プラント建設、保守用部 品供給	2003年5月	2003年5月	2	Acwa Power Development 50%、 ササクラ 25.0% 伊藤忠商事 25.0%		
23	Xenesys Arabia Co., Ltd.	排水温度差発電・淡水化システ ムの販売	2003年10月	2003年10月	2	ゼネシス 40% サウジ個人(9名) 60%		
24	RAWEC (Rabigh Arabian Water & Electricity Company)	水、電気、蒸気を生産し、ペトロ ラービグへ供給	2005年8月	2007年末	5	丸紅 30% 日揮 25% 伊藤忠 20.1% Acwa Power Project 24.9%		
25	Rabigh Refining and Petrochemical Co. (ペト ロ・ラービグ)	プロピレン、エチレン及び派生品 製造	2005年9月	2008年 第4四半期	750	住友化学 37.5% サウジアラムコ 37.5% 公開株 25%		エチレン 130万トン/年 プロピレン 90万トン/年
26	Suido Kiko Middle East	廃水処理プラントのエンジニアリ ング	2006年2月	2006年2月	200	水道機工 49% Saudi Brothers Commercial Co. 51%		
27	Yokogawa Saudi Arabia Company	プロセス制御ソリューションの開 発、エンジニアリングおよび生産	2006年12月	2006年12月	6.5	横河電機 100%	150	
28	Yokogawa Services Saudi Arabia Company	制御システム・機器の保守サー ビス	2007年4月	2007年4月	0.5	横河電機 67% Gas Arabian Services 33%	50	
29	Rabigh Petrochemical Logistics	ペトロ・ラービグ社工場構内物 流、中東地域におけるロジス ティクス業務	2007年7月	2007年7月	2	住友倉庫50% Almajdouie Trading Est. 50%		
30	JGC Gulf International Co.Ltd	各種プラント産業施設に関するコ ンサル、設計、機材調達、建設 工事ならびに試運転業務など	2008年2月	2008年2月	60	日揮 75% JGC SingaporePtd 25%	620	従業員は2010年12月時点
31	Sankyu Manar Saudi Arabia Company	産業用メンテナンス業務	2008年5月	2008年6月	3	山九 51% Manar Energy 44%、 Riyadh Al-Dakheel 5%		
32	Index Middle East Limited	モバイルを活用した放送メディア 企業向けソリューション、コンテン ツサービスの企画・開発・提供な ど	2008年9月	2008年9月	5	インデックスホールディング ス40% Basil Holding 60%		2009年4月、KACSTとア ニメーション等の人材育成事業 等に関し調印(業務委託契 約)
33	Nomura Saudi Arabia	投資銀行業務	2009年4月	2009年7月	50	野村証券100%	12	
34	J-Power Systems Saudi Co., Ltd.	電力・光複合海底ケーブル製造	2009年11月	2011年1Q	62.5	J-Power Systems 75% 丸紅メタル25%		
35	Mizuho Saudi Arabia	投資・進出アドバイス提供、有価 証券売買の取り次ぎ等、投資助 言・代理業、投資運用業、調査・ レポート提供等	2009年11月	-----	-----	みずほ証券グループ 70% みずほコーポレート銀行 3 0%	14	
36	Kubota Saudi Arabia	鋳鋼製品製造・販売	2009年12月	2010年7月	2.4	クボタ 51% Tharawat Development Company 49%	130	当初15億円(総投資額約60 億円)
37	Meisei Saudi Co, Ltd	熱絶縁工事業	2009年12月	2009年12月	1	明星工業 90% よしみね 10%	未定	
38	Arabian Japan Membrane Company	海水淡水化用逆浸透膜エレメン トの製造・販売	2010年3月	2011年3月	280	東洋紡績 36.1% 伊藤忠商事 14.9% ACWA Power Development 49%	未定	当初2億円(総投資額約7億 円)
39	Dhuruma Electricity Company	発電事業(発電所建設・運営)	2010年4月	2013年予定	0.4	双日関連会社:15% フランス・GDF SUEZ関連会 社:20% サウジ・アルジョマイグルー プ関連会社:15% サウジ・エレクトリシティー・ カンパニー:50%	11	環境に優しいガス炊き複合発 電 総プロジェクトコスト 21億ド ル
40	昭和シェル石油株式会社	石油元売(石油製品販売)	1985年1月 (昭和石油と シェル合併)	1942年(昭和 石油設立)	1,140(342 億円/04年 12月)	ロイヤルダッチシェル 35.25% サウジアラムコ 15.05%	1,441	04年、05年にシェルグループ が保有する昭和シェル株の一 部がアラムコに譲渡された
41	Mitsui Engineering & Shipment Arabia Ltd (MESAR)	化学プラント建設	1992年	-----	-----	三井造船 50% Abdulla Mosen Al Moushegah 50%	3	
42	Zamil Steel Building Vietnam Co., Ltd.	Pre-Engineering Buildings (PEB) 製造、販売		1997年	25	Zamil Industrial Investment Co., (ZIIC) 90% 三井物産 10%		

出所) JETRO リヤド事務所

## 4. 政府による投資インセンティブ

サウジアラビアでは、現在、若年層の高い失業率が極めて重要な社会問題であり、石油産業に限られない産業の多角化による雇用の創出に国を挙げて取り組んでいるところです。

サウジアラビア政府はこの自国産業の多角化に外国からの協力を求めており、とりわけ我が国企業に熱い視線を投げかけています。我が国の進出企業に対しては、サウジアラビア政府から高いインセンティブの付与が期待されます。また、サウジアラビア政府はこれまで、対サウジ投資のネックとなっていたサポーターインダストリーの育成や、人材育成についてもこれまでに無いほど真剣に取り組んでおり、投資環境は日増しに改善していると言えます。

[サウジアラビア政府が提示しているインセンティブ例]	
①	税制 法人所得税は一律 20%。製造業のための資本財や原材料の輸入に対する輸入関税は免除(但しサウジ国内での工業生産に使用され、かつサウジ国内での調達が困難な場合に限る)
②	インフラ 土地+関連インフラの提供、安価な電力・ガスの提供
③	融資 低利融資(SIDF: サウジ工業開発基金)
④	政府調達 サウジアラビア政府と特定企業との交渉による政府調達契約の締結が場合により可能(サウジアラビアは WTO 加盟時に政府調達ルールにコミットしていないため)
⑤	人材 ・新規採用のサウジ人従業員に対する給与・研修費の政府補助制度が充実 ・2年間を限度とする訓練中従業員の給与に対する半額補助(HRDF: 人材開発基金)

※ 上記のインセンティブは、投資企業に対する一般的なインセンティブとして、サウジアラビア政府側から提示されたものであり、投資案件によっては、より踏み込んだインセンティブが付与される可能性をサウジ側は示唆しております。

サウジアラビア政府は、産業育成専門機関 “National Industrial Clusters Development Program (NICDP)” (国家産業クラスター開発計画庁) を設立し、海外企業の進出支援に力を入れています。以下に、NICDP のトップからのメッセージを紹介いたします。

Dear the Investor

Saudi Arabia and Japan has a long history of exceptional relations built on the solid foundations of friendship and strategic partnership. As the reliable and secure energy supplier to the World, Saudi Arabia is now leaping to the next wave of industrial development that taps on the creativity and skills of its people. To prepare for this leap, Saudi Arabia has put in place major programs that are; expanding the production of petrochemicals, steel and aluminum; enhancing the skills of the workforce; building World-class Economic and Industrial cities and infrastructure; significantly improving the business environment.

Another important development in Saudi Arabia’s industrialization journey is the establishment of the National Industrial Clusters Development Program, with the mission to nurture and grow export oriented manufacturing clusters that can be sustainable and competitive in the long run. The Program’s initial focus is on five manufacturing sectors namely; Automotive, Metals Processing, Packaging, Consumer Goods and Construction Materials. To achieve this mission, the Program is working with international and local manufacturing firms to attract them to invest in these clusters, in such a way that creates value for participating firms and Saudi Arabia.

We recognize that to be successful we also need the support and collaboration of our friends and strategic partners. Japan’s leadership has shared the Saudi vision and mobilized to support it, and on April of 2007, the Custodian of the Two Holy Mosques and His Excellency the Prime Minister of Japan approved the establishment of the Saudi-Japan Industrial Cooperation Taskforce, as an effective way for industrial cooperation between the two countries. Since then, the Taskforce has been diligently working with businesses to explain the Saudi business environment and introduce them to the investment opportunities that are mutually beneficial.

We believe that with this level of commitment, we are bound to succeed in achieving our goals and building a better future for the people of both countries.

Azzam Shalabi  
President,  
National Industrial Clusters Development Program

(邦訳)

サウジアラビアと日本は、友情と戦略的なパートナーシップに裏付けられ、長い間特別な関係にある。世界へ安定かつ安全なエネルギーの供給者として、サウジアラビアは今、国民の創造性とスキルを使って次世代の産業発展に向け飛躍しようとしている。その準備として、石油化学製品・鉄鋼およびアルミニウムの生産の拡大、労働力の技術の向上、世界レベルの経済・産業都市とインフラの造成、そして事業環境の大幅改善といった大規模なプログラムを実施している。

サウジアラビアの産業育成における1つの重要な取組は、「国家産業クラスター開発計画」の設置である。本計画が焦点を当てるのは、自動車分野、金属加工分野、包装分野、消費財分野および建築資材分野の5つの製造分野である。このミッションを達成するために、本計画は多国籍または地場の製造業と協力し、参加企業およびサウジアラビアに価値をもたらす形でこれらのクラスターへの投資誘致活動を実施している。

成功のためには、友人や戦略的パートナーによる支援と協力が必要である。日本はサウジアラビアのビジョンを共有して支援することを決め、サウジアラビア国王と日本の首相は 2007 年 4 月に、2 国間産業協力の効果的な手段として、日本・サウジアラビア産業協カタスクフォースの設立を承認した。同タスクフォースは企業に対し、サウジアラビアの事業環境と相互に有利な投資機会を精力的に説明・紹介している。

私達は、このレベルのコミットメントにより、私達の目的が達成され、両国の国民にとってより良い将来をもたらすことになることと信じている。

国家産業クラスター開発計画庁 長官 アッザーム シャラビ

国家産業クラスター開発計画庁 (NICDP) ウェブサイト  
<http://www.saudiclusters.com>

日本政府としても日系企業の現地進出を強かにバックアップすべく、体制を整備しています。

### 〔日本政府によるサポート体制〕

- 日本とサウジアラビアは2007年4月から5月にかけて、安倍元総理、甘利経済産業大臣が相次いでサウジアラビアを訪問され、両国首脳間で**産業協力に関する共同声明を締結**しました。
- **中東協力センターから、サウジアラビア総合投資院(SAGIA)ジャパンデスクとしてリヤドに、水デスクとしてジェッダにそれぞれ専門家を派遣しており**、日本企業の進出をサポートしております。
- 日本政府は現在、サウジアラビアに対する投資が自由にできる環境を整え、投資家および投資財産を保護するための**投資協定の交渉**をサウジアラビア政府と積極的に推進しており、**2011年内に合意する見通し**です。
- 日本政府とサウジアラビア政府は**2010年11月15日、「租税条約」を締結**しました。今後、両国の投資・経済交流の一層の促進が期待されます。

日本サウジアラビア産業協カタスクフォースにおいても、企業の皆様の現地ミッション／事業化調査／ミッション受け入れにかかる支援スキームを用意しています。

### 〔日本サウジアラビア産業協カタスクフォースによる支援事業〕

支援スキームの種類	内容および主な補助対象経費
現地調査ミッション 派遣事業	サウジへの投資等環境調査や投資等案件発掘・形成に関する調査・協議等を目的として派遣するもの。 ＜補助対象経費＞ 渡航費、滞在費、事前準備費、現地活動費等の <b>全額</b>
現地詳細投資環境 調査事業	サウジへの事業進出可能性のある具体的案件について、詳細投資環境調査、FSを実施するもの。 ＜補助対象経費＞ 渡航費、滞在費、現地活動費、翻訳費、現地調査費、報告書作成費等の <b>全額</b> (上限 1,500 万円)
投資ミッション 受け入れ事業	サウジ企業との間で行う調査・協議等を目的として、サウジ側の訪日ミッションを受け入れるもの。 ＜補助対象経費＞ 渡航費、滞在費、事前準備費、国内活動費等の <b>全額</b>

JETRO リヤドにビジネスサポートオフィスをオープンしました。日系企業が現地調査を目的としてサウジへお越しになられた際の一時的な活動拠点をご提供します。

### 〔リヤド・ビジネスサポートオフィス(BSO)〕

- リヤド・ビジネスサポートオフィス(BSO)は、サウジアラビアへの直接投資や技術移転を促進するため、同国への進出を検討している日本企業が、首都リヤドにおいて、進出に必要な調査、検討、準備を行う拠点として、一定期間(最長2ヶ月間)、無料で利用できるオフィススペースで、ジェトロ・リヤド事務所と併設されています。
- BSOは、上記の日本・サウジアラビア産業協カタスクフォースによる支援事業の対象企業が利用できます。
- BSOにおいては、常駐アドバイザーが進出調査、検討の段階から企業をサポートし、サウジアラビアへの進出に必要なノウハウ、情報等を提供するとともに、入居者のご相談に応じます。



